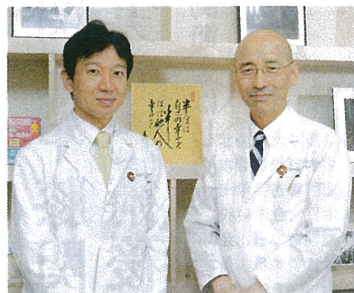


石部基実クリニック

人工股関節置換術

MISとナビゲーションシステムを駆使
人工股関節置換術のエキスパート
北海道初の欧米式診療システムを導入した、人工関節治療の専門クリニック

院長

石部 基実氏

1982年北海道大学医学部卒業。北大医学部整形外科入局。米国ロチェスター大学医学部整形外科、NTT東日本札幌病院人工関節センタ長などを経て、08年石部基実クリニック開院。日本整形外科学会専門医。日本リウマチ学会専門医ほか。医学博士(写真右)

副院長

狩谷 哲氏

1994年金沢医科大学医学部卒業。昭和大学病院整形外科助手(股関節班チーフ)、総合高津中央病院整形外科医長などを経て、2010年石部基実クリニック勤務。現在に至る。日本整形外科学会専門医ほか(写真左)

精密かつ安全性の高い手術
患者は全国や海外からも

人工股関節置換術を専門に、2008年に開院した石部基実クリニック。北海道初の欧米式診療システムを導入し、外来診察は同クリニックで行い、手術は提携する小笠原クリニック札幌病院で行うことで、より多くの患者に対して、より質の高い診療の提供に努めている。その実績は数多く、患者は道外のみならず、評判を聞きつけ在外邦人も診療に訪れるほどだ。

石部基実院長は、大学卒業から4年目に股関節外科を専門とすることを決意。03年から人工股関節置換術におけるMIS(最小侵襲手術)を実施。従来の手術に比べ、傷口が20cmから7cmと小さくてすみ、身体へのダメージも少なく、手術翌日からリハビリテーションが行える。入院期間も平均10日間ほどと短く、退院後の早期社会復帰も可能だ。さらに04年にはナビゲーションシステムを導入。股関節の変形が強い難症例に対して、

より精密かつ安全性の高いMISを行えるよう補完的役割を担っている。また10年からは、経験豊富な狩谷哲副院長を迎え、2人体制で診療にあたっている。12年1年間の症例数は、再置換を含めて668件となっている。

「半(なか)ばは自己の幸せを半ばは他人(ひと)の幸せを」

「股関節に痛みがあると歩くのが辛く、活動的な生活が送れなくなります。主な原因は変形性股関節症で、ある程度までは減量や運動、薬で痛みをコントロールできます。痛みが強く進行した場合でも手術で完治することもできます」と石部院長。今

なお修行中である少林寺拳法の開祖の教え、「半ばは自己の幸せを、半ばは他人の幸せを」の言葉をモットーに、「股関節の痛みで悩んでいる方々を一人でも多く、一日でも早く診療する、これが私の願いです」と、患者の不安に配慮した診療にあたっている。

JTBと連携し、東京、関西、名古屋発着のツアープランを用意するほか、全国の地域病院との提携、執筆や講演を通じた啓蒙活動にも積極的に取り組む。



石部基実クリニック

札幌市南区真駒内上町1丁目1-25
グリーンプラザ真駒内公園ビル1階
(011) 876-9008 (平日9:00~12:00)
(011) 876-8092 (平日13:00~18:00)
<http://www.dr-ishibe.net>

- 診療時間
月・火・木・金 9:00~18:00
*完全予約制
- 休診日／水曜・土曜・日曜・祝日
- 診療科目
整形外科



院内は一般的な整形外科のイメージを払拭。品のある内観と落ち着いた雰囲気、専門クリニックとしての特別感も感じられる